

### 8.1.3 学生の受け入れ

#### <2003 年度に設定した目標>

1. 入試制度の見直しを継続し、学部教育理念に沿った学生を確保する。
2. 英語特別選抜入試を実施する。
3. 推薦入試における指定校の見直し・再検討を行う。
4. スポーツに優れた能力を発揮し、かつ総合政策学部の教育理念を理解した学生を選抜する入試を導入する。

#### 【評価項目 5-0-1】 入学者受け入れ方針等

- (必須要素) 入学者受け入れ方針と大学・学部等の理念・目的・教育目標との関係
- (必須要素) 入学者受け入れ方針と入学者選抜方法、カリキュラムとの関係
- (選択要素) 学部・学科等のカリキュラムと入試科目との関係
- (必須要素) 大学・学部等の学生募集の方法、入学者選抜方法、殊に複数の入学者選抜方法を採用している場合には、その各々の選抜方法の位置づけ等の適切性

#### (現状の説明)

総合政策学部は、「自然と人間の共生、人間と人間の共生」を基本理念として、地球社会の要請に応える人材育成を目指す学部として発足した。地球規模で広がる自然破壊と環境汚染、飢餓と飽食の同時進行、平和と人権に対する脅威、先進国・発展途上国を問わず深刻化する都市問題、異なる民族や人種、宗教のあいだでの対立や紛争などの諸問題に対して、ヒューマン・エコロジーの学問的枠組を取り入れて、学際的・複合的なアプローチによって、こうした諸問題の解決に取り組むことを目標としている。

こうした教育理念を実現するために、総合政策学部では、多様な入学者選抜の方法を採用している。一般入試（A日程入試）では、英語を必須科目とし、その他の国語、数学、社会は選択科目とする2科目入試を実施している。総合政策学部の2005年度入試形態は次の通りである。

#### 1. 一般入試

A日程：総合政策学科 100名、メディア情報学科 40名

F日程：総合政策学科 50名、メディア情報学科 20名

大学入試センター入試を利用する入試

1月出願：総合政策学科 10名、メディア情報学科 5名

2月出願：英数型：総合政策学科 10名、メディア情報学科 5名

#### 2. 推薦入試

高等部推薦：総合政策学科 25名、メディア情報学科 5名

協定校推薦：総合政策学科 4名、メディア情報学科 2名

指定校推薦：総合政策学科 65名、メディア情報学科 25名

スポーツ推薦：総合政策学科 若干名、メディア情報学科 若干名

#### 3. AO入試

英語特別選抜：総合政策学科 50名、メディア情報学科 10名

帰国生徒：総合政策学科 10名、メディア情報学科 5名

#### 4. 外国人留学生入試

一般：総合政策学科 15名

指定校推薦：総合政策学科 15名

#### 5. 編入学試験

一般：総合政策学科 30名

指定校推薦：20名

以上の入試で、A日程、F日程、大学入試センター試験を利用する入試などの一般入試は、入学者の総合的な学力を試すためのものである。高等部推薦、協定校推薦、指定校推薦などの推薦入学制度は、基礎的な総合学力のみならず、高校での活動や大学での強い学習意欲などに基づいて入学者を選抜するものである。スポーツ推薦入試は、基礎的な学力に加えて、学生の高い運動能力とスポーツ活動での実績を評価するもので、学部の学生の多様性を高めるものとして捉えている。AO入試、特に英語特別選抜入試では、英語のリスニング能力とライティング能力を試すことにより、本学部での高度な英語教育に対応できる力と論理的な思考力を備えた学生を確保することを目的としている。総合政策学部は、英語の発信型コミュニケーション能力の育成に力を注いでいる。また、本学部では、英語の授業のみならず、いくつかの専門科目で外国人教員が英語によって講義している。英語特別選抜入試で要求される高度な英語力は、大学での学びに直接結びついている。帰国生入試もほぼ同様である。外国人留学生入試と編入学試験はともに本学部の学生の多様化を図ることが目的である。

#### （点検・評価の結果）

多様な入試制度により適正な学生の受け入れができていているといえる。ただ、英語特別選抜入試（AO入試）により、学部独自の英語教育に相応しい入学者の確保が一層促進されたが、入学者の総合的な学力を試すことを目的としたA日程入試の性格付けを再検討する必要がある。英語を必須科目とし、それ以外の科目を選択科目とする2科目入試の制度は、本学部の英語教育の特色を考慮して実施されている。しかし、英語特別選抜入試の導入により、一般入試の性格は本来の総合的な学力の評価を目標としたものにする必要がある。そのためには、論理思考力、言語表現力、理解力といった学部での研究教育に必要とされる基礎能力を測るために、国語を必須科目とすることを検討する。

#### （改善の具体的方策）

2006年度入試から、一般入試（A日程入試）において、英語と国語を必須科目とし、それ以外の数学と社会を選択科目とする3科目入試を実施する予定である。

#### 【評価項目 5-0-3】 入学者選抜の仕組み

（必須要素）入学者選抜試験実施体制の適切性

（必須要素）入学者選抜基準の透明性

（選択要素）入学者選抜とその結果の公正性・妥当性を確保するシステムの導入状況

#### (現状の説明)

入学試験の実施については、大学（入試部）が主導する全学的な体制の下で行っており、透明性・適切性は確保されている。（「I 全学に関する事項」の「1.3 学生の受け入れ」評価項目「5-0-3 入学者選抜の仕組み」を参照）

総合政策学部では、AO入試（英語特別選抜）に関しては、大学（入試部）とは別に独自の実施体制をとっている。

#### 2003年度入試（2002年度入試）

第1次選考（英語リスニング試験）において、教員（実行委員）7名、教員3名、事務職員7名、教務補佐・実験実習指導補佐3名の合計20名が担当した。教員のうち8名が試験監督、2名が本部業務を行った。教務補佐・実験実習指導補佐は、受験生の誘導を行った。第2次選考（面接）において、教員（実行委員）5名、教員3名、事務職員4名の合計12名が担当した。教員うち6名が面接、2名が本部業務を行った。

#### 2004年度入試（2003年度実施）

第1次選考（英語リスニング試験）において、教員（実行委員）7名、教員3名、事務職員4名、教務補佐、実験実習指導補佐、教学補佐6名の合計20名が担当した。教員のうち8名が試験監督、2名が本部業務を行った。教務補佐、実験実習指導補佐、教学補佐は受験生の誘導・答案の回収などを行った。第2次選考（面接）において、教員（実行委員）7名、教員5名、事務職員4名の合計16名が担当した。教員のうち10名が面接、2名が本部業務を行った。

#### 2005年度入試（2004年度実施）

第1次選考（英語エッセイ試験、英語リスニング試験）において、教員（実行委員）8名、教員4名、事務職員4名、教務補佐、教学補佐6名の合計22名が担当した。英語エッセイ試験では教員6名が監督、英語リスニング試験では教員8名が監督を行った。教務補佐、教学補佐は、受験生の誘導・答案の回答などを行った。第2次選考（面接）において、教員（実行委員）7名、教員10名、事務職員4名の合計21名が担当した。教員のうち15名が面接、2名が本部業務を行った。

#### (点検・評価の結果および改善の具体的方策)

現在のところ特に問題もなく、改善すべき点は見当たらないが、今後も実施体制の効率化を高める努力を続けていく。

#### 【評価項目 5-0-5】 アドミSSIONズ・オフィス入試 (選択要素) アドミSSIONズ・オフィス入試実施の実効性

#### (現状の説明)

総合政策学部では、「理念・目的・教育目標」や「カリキュラムの編成」等で述べたように、学部独自の英語教育プログラムを実施し、発信型の英語コミュニケーション能力の育成に力を注いでいる。こうした教育プログラムを円滑に進めるには、総合的な英語コミュニケーション能力に関する基礎的な学力を持った学生が求められる。

こうした考えに基づき、本学部ではAO入試として「英語特別選抜入試」を実施している。出願資格、選考方法は以下の通りである。

#### 出願資格

本総合政策学部を第一志望とし、強く入学を希望する者で、次の要件を満たす者。高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および当該年度3月に卒業見込みの者。または通常の課程による12年の学校教育を修了した者および当該年度3月修了見込みの者（高等学校卒業と同等以上の学力があると本学が認める者を含む）。

#### 選考方法

##### 第1次審査

① 英語リスニング方式（英語による講義ビデオを見て、その内容についてマークシート方式で解答する）

② 英語エッセイ方式（指示に従って英文でエッセイを記述する）

（第1次審査では、2方式のうちいずれか一方、あるいは両方を受験することが可能）

##### 第2次審査（第1次審査合格者のみ）

書類審査、面接審査の総合評価

2003年度：第1次審査 受験者164名、合格者45名

第2次審査 受験者 43名、合格者28名

2004年度：第1次審査 受験者136名、合格者46名

第2次審査 受験者 45名、合格者39名

#### （点検・評価の結果）

英語特別選抜入試は本学部の教育目的に適合した人材を確保する手段として十分機能していると思われる。志願者もほぼ毎年一定の人数を集めており、受験生にこの選抜制度の趣旨・方法が理解されてきていると考えてよいであろう。

#### （改善の具体的方策）

今後は、選抜方法の見直し実施体制の強化などを含めて、この選抜方式をさらに実効性のあるものとしていく努力を行う。

#### 【評価項目 5-0-7】 入学者選抜における高・大の連携

（選択要素）推薦入学における、高等学校との関係の適切性

（選択要素）入学者選抜における、高等学校の「調査表」の位置づけ

（選択要素）高校生に対して行う進路相談・指導、その他これに関わる情報伝達の適切性

#### （現状の説明）

また、本学部では、高等学校を対象とした指定校推薦入試、短大以上の学生を対象とした編入学の指定校推薦入試、外国人留学生のための日本語学校を対象とした指定校推薦入試を実施している。一定の期間を経た現在、指定校の見直し作業を行っている。

高等学校を対象とした指定校推薦は、「関西学院大学総合政策学部で学ぶことに強い意欲を持ち、かつそれにふさわしい能力を有する生徒を推薦に基づき入学させることによっ

て、関西学院建学の精神を基盤として社会に対して深い洞察力を備え、かつ国際感覚に優れた人材を育成すること」を目的としている。

指定校推薦の対象校については2006年度から見直しをおこない、過去数年にわたって出願者の無かった高等学校14校を2006年度指定校としての依頼を中止した。これは本学部に適切な人材を推薦できる可能性のある高等学校を絞り込むための措置である。現在、指定校の対象校は145校である。

出願資格としては、当該年度の卒業見込み、本学部入学への強い意欲、校長による責任ある推薦に加えて、以下の事項を設定し、本学部の求める人材の特色を明示している。「現実社会のさまざまな問題に興味を持ち、英語による発信型のコミュニケーション能力を磨きつつ政策課題の解決に取り組もうとする意欲のある者」「高等学校の学業成績（入学時より第3学年1学期末まで、ただし2学期制の高等学校の場合は3年前期末まで）が次の基準のいずれかを満たしている者。①全体の評定平均値が4.0以上である者。②英語の評定平均値が4.5以上である者。英語・国語・数学の3教科の評定平均値が3教科平均で4.2以上である者。」

入学者の選抜は、書類（高等学校長の推薦書、調査書、自己推薦書）および面接によって行っている。

2002年度から2006年度までの指定校推薦の学校数、推薦人数は以下の通りである。

2002年度：指定校数45校、人数45人（各校、各学科1名）

2003年度：指定校数70校、人数70人（各校、各学科1名）

2004年度：指定校数101校、人数129人（一部、両学科合わせて2名推薦枠あり）

2005年度：指定校数127校、人数156人（一部、両学科合わせて2名推薦枠あり）

2006年度：指定校数145校、人数176人（一部、両学科合わせて2名推薦枠あり）

#### （点検・評価の結果）

指定校数の増加に伴い、これまでほとんど志願者を推薦しなかった高等学校に関しては、一旦指定を中止した。さらに実績のある高等学校に対しては推薦枠を増やして、より志願しやすい環境を整えている。

#### （改善の具体的方策）

今後は、指定校推薦で入学した学生の学業レベルの水準を調査・把握し、指定校へのフィードバックを行う。また、本学部の教育理念・方法を志願者によりよく理解してもらうように、指定校への情報提供のありかたを検討する。

#### 【評価項目 5-0-8】 社会人学生の受け入れ

#### 【評価項目 5-0-9】 科目等履修生、聴講生等

（選択要素）科目等履修生、聴講生等の受け入れ方針・要件の適切性と明確性

#### 【評価項目 5-0-10】 外国人留学生の受け入れ

（選択要素）留学生の本国地での大学教育、大学前教育の内容・質の認定の上に立った学生受け入れ・単位認定の適切性

#### (現状の説明)

本学部では、社会的要請、本学の実績ならびに本学部の特徴を踏まえて、留学生の募集定員を各年度30名とし、積極的な受け入れを行っている。留学生で入学時に日本語能力試験（実施者 国内：財団法人に本国際教育支援協会、国外：国際交流基金）および日本留学試験（実施者：独立行政法人日本学生支援機構）等のスコアをもって、日本語Ⅰおよび日本語Ⅱの各2単位合計4単位を認定している。本国地での英語学習経験が少ない留学生に対しては、基礎英語ⅠA・ⅠB、ⅡA・ⅡB（各2単位）が用意されている。

#### (点検・評価の結果)

現在のところ、受験者数も安定しており、一定のレベルの入学者を確保できているので、特に問題はないが、受け入れた留学生に対する教育サービスの提供に関して、留学生からのフィードバックを参考にしながら改善していく必要がある。

#### (改善の具体的方策)

「キャンパスミーティング」などの意見交換の場を活用する。